

<参考1> 第3回 大型施設計画・大規模研究に関する調査

(1) 既存43計画に対する調査

平成22年9月24日
日本学術会議 科学者委員会
学術の大型研究計画分科会
委員長 岩澤 康裕

学術の大型研究計画に関する調査（平成22年度）

—大型研究計画マスタープランの改訂—

1. 本調査の目的

日本学術会議では、科学者委員会の下に設置された「学術の大型研究計画検討分科会」より提言「学術の大型施設計画・大規模研究計画—企画・推進策の在り方とマスタープラン策定について—」（平成22年3月17日）を発出いたしました。

策定した大型研究計画のマスタープランは固定的なものではなく、国際情勢、学術環境、社会的要請などの俯瞰的な視点、各分野の研究者コミュニティにおける議論・検討の進展に鑑みて、継続的に評価・検討し、改定を行う必要があります。

そこで、この度、大型研究計画マスタープランの改訂にあたり、本提言に記載された大型研究計画マスタープラン43計画の修正・アップデートを目的としたアンケート調査を実施いたします（マスタープラン43計画については、<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-21-t90-2-2.pdf> をご覧下さい）。

変更・修正が無い場合も含めて、ご計画について下記のウェブよりご回答をお願いいたします（新規に募集される計画との混乱を防ぐため、43計画専用のウェブとなっております）。

2. 調査内容の取り扱い等について

調査結果は、国際対応も含め今後の我が国の大型研究推進の方策・体制等を検討する基礎資料として利用するものであり、予算への直接の反映等を意図するものではありません。

ただし、今後、科学・技術政策の検討や国際的な場面（G8関係等）等において、大型研究計画に関する情報交換や議論が行われる可能性もあり、優劣等の判断につながらないように十分に配慮した上で、情報提供を行う可能性があります。

なお、本調査結果については、個票を直接公開することはありません。改訂版マスタープランは、平成23年10月初めの日本学術会議総会までのなるべく早い時期にまとめる予定です。

3. 調査対象

カテゴリーA：大型施設計画について

調査対象は、総額が数十億円以上の施設の建設（装置、設備等を含む。運営費は除く）を行う大型研究施設の計画。

カテゴリーB：大規模研究計画（大型施設計画は除く）について

調査対象は、科学研究費補助金等では実施が困難であり、個別研究プロジェクトの枠を超えた大分野の根幹となる、総額が数十億円以上（設備、ネットワーク構築、データ集積、運営費等の経費）の大型研究計画。

4. 回答期間

平成 22 年 9 月 24 日（金）～平成 22 年 12 月 22 日（水）

5. 回答方法

カテゴリーA は、URL <https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0016.html>

カテゴリーB は、URL <https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0015.html>

よりご回答下さい。

カテゴリーA：(大型施設計画)調査項目

0. 変更・修正の有無 (択一選択式)
・有 ・無
1. 分野 (択一選択式)
(1) 人文・社会科学 (2) 生命科学 (3) エネルギー・環境・地球科学 (4) 物質・分析科学 (5) 物理学・工学 (6) 宇宙空間科学 (7) 情報インフラストラクチャー
2-1 前回の、計画の日本語タイトル (2行以内)
2-2 修正後の、計画の日本語タイトル (2行以内)
3-1 前回の、計画の英語タイトル (2行以内)
3-2 修正後の、計画の英語タイトル (2行以内)
4-1 前回の、計画の概要 (簡潔な目標と、主に施設に係わる具体的計画等) (10行以内)
4-2 修正後の、計画の概要 (10行以内)

5-1 前回の、予算規模 (5行以内)
5-2 修正後の、予算規模 (5行以内)
6-1 前回の、年次計画 (5行以内)
6-2 修正後の、年次計画 (5行以内)
7-1 前回の、科学的な意義 (期待される科学的成果、さまざまな効果を明確に) (10行以内)
7-2 修正後の、科学的な意義 (10行以内)
8-1 前回の、主な実施機関 (実施の中心となる機関名とその役割) (5行以内)
8-2 修正後の、主な実施機関 (5行以内)

<p>9-1 前回の、実行組織（計画責任者および実行グループの主要メンバーの所属、役割等。進んだ段階にある場合は、主な実施機関とコミュニティにおける実行組織の概要。ただし、国際共同・協力については次項）（10行以内）</p>
<p>9-2 修正後の、実行組織（10行以内）</p>
<p>10-1 前回の、国際協力・国際共同（共同・協力の形態、想定される日本の役割、現在の国際的状況、建設時および完成後の共同・協力の体制、その他の海外動向など）（10行以内）</p>
<p>10-2 修正後の、国際協力・国際共同（10行以内）</p>
<p>11-1 前回の、計画における国際共同の重要性と問題点（前項の記述を踏まえ、この計画における国際的な共同の枠組みの重要性、ユニークさ、問題点や今後の課題などを簡潔に）（5行以内）</p>
<p>11-2 修正後の、計画における国際共同の重要性と問題点（5行以内）</p>

12-1 前回の、準備状況（現在計画がどの段階にあるかを、（１）中心メンバーによる企画段階、（２）研究者グループの具体的検討による企画書段階、（３）一定の準備資金（明記のこと）を得ての技術開発等開発・準備段階、（４）計画の全容が定まり予算要求段階、などの段階を明記の上、（５）コミュニティの合意状況も含めて準備の現状を具体的に記述）（１０行以内）
12-2 修正後の、準備状況（１０行以内）
13-1 前回の、タイムスケジュール（いつ頃までに実現を期待しているか、現状とスケジュールの根拠を明示）（５行以内）
13-2 修正後の、タイムスケジュール（５行以内）

14 回答を頂いた方(代表者)の連絡先

お名前:

ご所属:

ご連絡先:

ご連絡先 E-mail アドレス:

カテゴリーB：大規模研究計画調査項目

0. 変更・修正の有無（択一選択式）
・有 ・無
1. 分野（択一選択式）
(1) 人文・社会科学 (2) 生命科学 (3) エネルギー・環境・地球科学 (4) 物質・分析科学 (5) 物理学・工学 (6) 宇宙空間科学 (7) 情報インフラストラクチャー
2-1 前回の、計画の日本語タイトル（2行以内）
2-2 修正後の、計画の日本語タイトル（2行以内）
3-1 前回の、計画の英語タイトル（2行以内）
3-2 修正後の、計画の英語タイトル（2行以内）
4-1 前回の、計画の概要（簡潔な目標と、主に設備、ネットワーク構築、データ集積、運営に係わる具体的計画等（10行以内）
4-2 修正後の、計画の概要（10行以内）

5-1	前回の、予算規模（初期投資と運営費等の細目をそれぞれ記入）	（5行以内）
5-2	修正後の、予算規模	（5行以内）
6-1	前回の、研究継続期間	（5行以内）
6-2	修正後の、研究継続期間	（5行以内）
7-1	前回の、科学的な意義（期待される科学的成果、さまざまな効果を明確に）	（10行以内）
7-2	修正後の、科学的な意義	（10行以内）
8-1	前回の、主な実施機関（実施の中心となる機関名とその役割）	（5行以内）
8-2	修正後の、主な実施機関	（5行以内）

<p>9-1 前回の、実行組織（計画責任者および実行グループの主要メンバーの所属、役割等。進んだ段階にある場合は、主な実施機関とコミュニティにおける実行組織の概要。ただし、国際共同・協力については次項）（10行以内）</p>
<p>9-2 修正後の、実行組織（10行以内）</p>
<p>10-1 前回の、国際協力・国際共同（共同・協力の形態、想定される日本の役割、現在の国際的状況、建設時および完成後の共同・協力の体制、その他の海外動向など）（10行以内）</p>
<p>10-2 修正後の、国際協力・国際共同（10行以内）</p>
<p>11-1 前回の、計画における国際共同の重要性と問題点（前項の記述を踏まえ、この計画における国際的な共同の枠組みの重要性、ユニークさ、問題点や今後の課題などを簡潔に）（5行以内）</p>
<p>11-2 修正後の、計画における国際共同の重要性と問題点（5行以内）</p>

12-1 前回の、準備状況（現在計画がどの段階にあるかを、（１）中心メンバーによる企画段階、（２）研究者グループの具体的検討による企画書段階、（３）一定の準備資金（明記のこと）を得ての技術開発等開発・準備段階、（４）計画の全容が定まり予算要求段階、などの段階を明記の上、（５）コミュニティの合意状況も含めて準備の現状を具体的に記述）（１０行以内）
12-2 修正後の、準備状況（１０行以内）
13-1 前回の、タイムスケジュール（いつ頃までに実現を期待しているか、現状とスケジュールの根拠を明示）（５行以内）
13-2 修正後の、タイムスケジュール（５行以内）

14 回答を頂いた方(代表者)の連絡先

お名前:

ご所属:

ご連絡先:

ご連絡先 E-mail アドレス:

(2) 新規計画に対する調査

平成 22 年 9 月 24 日
日本学術会議 科学者委員会
学術の大型研究計画分科会
委員長 岩澤 康裕

学術の大型研究計画に関する調査（平成 22 年度）

—大型研究計画マスタープランの改訂—

1. 本調査の目的

日本学術会議では、科学者委員会の下に設置された「学術の大型研究計画検討分科会」において、学術研究を推進するに当たり、大型の施設を必要とする大型施設計画、あるいは多数の研究者の長期にわたる共同を必要とするなど大分野の根幹となる大規模研究計画について、我が国における企画・推進方策の在り方や、それらの方策を実現するためのシステムの構築に向けた検討を行い、平成 22 年 3 月 17 日に提言「学術の大型施設計画・大規模研究計画—企画・推進策の在り方とマスタープラン策定について—」を発出いたしました。本提言の目的・大型研究計画のリストアップ基準・検討の基本的考え方の詳細については、<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-21-t90-2.pdf> をご参照下さい。本提言の作成にあたっては、学術の大型研究に関する第 1 回(平成 21 年 3 月)及び第 2 回調査(平成 21 年 6 月)のアンケート調査にご協力をいただきましたこと、厚く感謝申し上げます。

策定した大型研究計画のマスタープランは固定的なものではなく、国際情勢、学術環境、社会的要請などの俯瞰的な視点、各分野の研究者コミュニティにおける議論・検討の進展に鑑みて、継続的に評価・検討し、改定を行う必要があります。

そこで、この度、本提言に記載された大型研究計画マスタープラン 43 計画の修正及び、新たな計画の追加等アップデートを目的として、第 3 回目のアンケート調査を実施いたします。今回は、ウェブによるご回答をお願いしております。(43 計画については、<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-21-t90-2-2.pdf> をご覧下さい)。

2. 調査内容の取り扱い等について

調査結果は、国際対応も含め今後の我が国の大型研究推進の方策・体制等を検討する基礎資料として利用するものであり、予算への直接の反映等を意図するものではありません。

ただし、今後、科学・技術政策の検討や国際的な場面（G8 関係等）等において、大型研究計画に関する情報交換や議論が行われる可能性もあり、優劣等の判断につながら

ないよう十分に配慮した上で、情報提供を行う可能性があります。

なお、本調査結果については、個票を直接公開することはありません。改訂版マスタープランは、平成 23 年 10 月初めの日本学術会議総会までのなるべく早い時期にまとめる予定です。

3. 今回の調査対象

カテゴリーA：大型施設計画について

調査対象は、総額が数十億円以上の施設の建設（装置、設備等を含む。運営費は除く）を行う大型研究施設の計画。

カテゴリーB：大規模研究計画（大型施設計画は除く）について

調査対象は、科学研究費補助金等では実施が困難であり、個別研究プロジェクトの枠を超えた大分野の根幹となる、総額が数十億円以上（設備、ネットワーク構築、データ集積、運営費等の経費）の大型研究計画。

4. 募集期間

平成 22 年 9 月 24 日（金）～平成 22 年 12 月 22 日（水）

5. 回答方法

カテゴリーA は、URL <https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0017.html>

カテゴリーB は、URL <https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0018.html>

よりご回答下さい。

（計画が複数ある場合は、計画 1 つずつ、URL にご記入下さい）

カテゴリーA：(大型施設計画)調査項目
(研究計画毎(一件一様式)で作成してください。)

1. 計画のタイトル[英文があれば併記] (2行以内程度)
2. 計画の概要(簡潔な目標と、主に施設に係わる具体計画、予算規模 等) (10行以内程度)
3. 科学的な意義 (期待される科学的成果、さまざまな効果を明確に) (10行以内程度)
4. 主な実施機関 (実施の中心となる機関名とその役割) (5行以内程度)
5. 実行組織 (計画責任者および実行グループの主要メンバーの所属、役割等。進んだ段階にある場合は、主な実施機関とコミュニティにおける実行組織の概要。ただし、国際協力・国際共同については次項) (10行以内程度)
6. 国際協力・国際共同 (協力・共同の形態、想定される日本の役割、現在の国際的状況、建設時および完成後の協力・共同の体制、その他海外動向など) (10行以内程度)

<p>7. 準備状況（現在計画がどの段階にあるかを、①中心メンバーによる企画段階、②研究者グループの具体的検討による企画書段階、③一定の準備資金（明記の事）を得ての技術開発等開発・準備段階、④計画の全容が定まり予算要求段階、などの段階を明記の上、コミュニティの合意状況も含めて準備の現状を具体的に記述）（10行以内程度）</p>
<p>8. タイムスケジュール（いつ頃までの実現を期待しているか、現状とスケジュールの根拠を明示）（10行以内程度）</p>
<p>9. 計画における国際協力・国際共同の重要性と問題点（(6)の記述を踏まえ、この計画における国際的な協力・共同の枠組みの重要性、ユニークさ、問題点や今後の課題などを簡潔に）（10行以内程度）</p>

10. 回答を頂いた方(代表者)の連絡先

お名前:

ご所属:

ご連絡先:

E-mail アドレス:

カテゴリーB：大規模研究計画（大型施設計画は除く）調査項目
（研究計画毎（一件一様式）で作成してください。）

1. 計画のタイトル〔英文があれば併記〕（2行以内程度）
2. 計画の概要（簡潔な目標と、主に設備、ネットワーク構築、データ集積、運営に係わる具体計画等）（10行以内程度）
3. 科学的な意義（期待される科学的成果、さまざまな効果を明確に）（10行以内程度）
4. 予算規模（初期投資と運営費等の細目をそれぞれ記載）と研究継続期間（10行以内程度）
5. 主な実施機関（実施の中心となる機関名とその役割）（5行以内程度）
6. 実行組織（計画責任者および実行グループの主要メンバーの所属、役割等。進んだ段階にある場合は、主な実施機関とコミュニティにおける実行組織の概要。ただし、国際協力・国際共同については次項）（数行以内程度）

7. 国際協力・国際共同（協力・共同の形態、想定される日本の役割、現在の国際的状況、建設時および完成後の協力・共同の体制、その他海外動向など）（10行以内程度）
8. 準備状況（現在計画がどの段階にあるかを、①中心メンバーによる企画段階、②研究者グループの具体的検討による企画書段階、③一定の準備資金（明記の事）を得ての技術開発等開発・準備段階、④計画の全容が定まり予算要求段階、などの段階を明記の上、コミュニティの合意状況も含めて準備の現状を具体的に記述）（数行以内程度）
9. タイムスケジュール（いつ頃までに実現を期待しているか、現状とスケジュールの根拠を明示）（数行以内程度）
10. 計画における国際協力・国際共同の重要性と問題点（(7)の記述を踏まえ、この計画における国際的な協力・共同の枠組みの重要性、ユニークさ、問題点や今後の課題などを簡潔に）（数行以内程度）

11. 回答を頂いた方(代表者)の連絡先

お名前:

ご所属:

ご連絡先:

E-mail アドレス:

<参考2> 調査票送付先リスト

総計 210 件（対象は本文 11 ページ参照。）

日本学術会議分野別委員会（※委員長宛にて送付）

（計 30 件）

委員会名	委員会名
言語・文学委員会	臨床医学委員会
哲学委員会	健康・生活科学委員会
心理学・教育学委員会	歯学委員会
社会学委員会	薬学委員会
史学委員会	環境学委員会
地域研究委員会	数理科学委員会
法学委員会	物理学委員会
政治学委員会	地球惑星科学委員会
経済学委員会	情報学委員会
経営学委員会	化学委員会
基礎生物学委員会	総合工学委員会
統合生物学委員会	機械工学委員会
農学委員会	電気電子工学委員会
食料科学委員会	土木工学・建築学委員会
基礎医学委員会	材料工学委員会

大学（※大学長通じ、研究所・センターに送付）

（大学：27 件、研究所・センター：83 件）

大学名	研究所・センター名
北海道大学	低温科学研究所
	電子科学研究所
	遺伝子病制御研究所
	触媒化学研究センター
	スラブ研究センター
	情報基盤センター
	人獣共通感染症リサーチセンター
帯広畜産大学	原虫病研究センター
東北大学	金属材料研究所
	加齢医学研究所
	流体科学研究所

	電気通信研究所
	多元物質科学研究所
	サイバーサイエンスセンター
筑波大学	計算科学研究センター
	遺伝子実験センター
	下田臨海実験センター
群馬大学	生体調節研究所
千葉大学	環境リモートセンシング研究センター
	真菌医学研究センター
東京大学	医科学研究所
	地震研究所
	東洋文化研究所
	社会科学研究所
	史料編纂所
	宇宙線研究所
	物性研究所
	大気海洋研究所
	素粒子物理国際研究センター
	空間情報科学研究センター
	情報基盤センター
東京医科歯科大学	難治疾患研究所
東京外国語大学	アジア・アフリカ言語文化研究所
東京工業大学	資源化学研究所
	応用セラミックス研究所
	学術国際情報センター
一橋大学	経済研究所
新潟大学	脳研究所
富山大学	和漢医薬学総合研究所
金沢大学	がん研究所
名古屋大学	太陽地球環境研究所
	地球水循環研究センター
	情報基盤センター
京都大学	化学研究所
	人文科学研究所
	再生医科学研究所
	生存圏研究所
	防災研究所

	基礎物理学研究所
	ウイルス研究所
	経済研究所
	数理解析研究所
	原子炉実験所
	霊長類研究所
	東南アジア研究所
	エネルギー理工学研究所
	生態学研究センター
	放射線生物研究センター
	学術情報メディアセンター
	地域研究統合情報センター
大阪大学	微生物病研究所
	産業科学研究所
	たんぱく質研究所
	社会経済研究所
	接合科学研究所
	核物理研究センター
	サイバーメディア研究センター
	レーザーエネルギー学研究センター
鳥取大学	乾燥地研究センター
岡山大学	資源生物科学研究所
	地球物質科学研究センター
広島大学	原爆放射線医科学研究所
	放射光科学研究センター
徳島大学	疾患酸素学研究センター
高知大学	海洋コア総合研究センター
九州大学	生体防御医学研究所
	応用力学研究所
	先導物質化学研究所
	情報基盤研究開発センター
佐賀大学	海洋エネルギー研究センター
長崎大学	熱帯医学研究所
熊本大学	発生医学研究所
琉球大学	熱帯生物圏研究センター

共同利用・共同研究拠点（※大学長通じ、研究所・センター等に送付）

（大学：7件、研究所・センター：9件）

大学名	共同利用・共同研究拠点
早稲田大学	イスラーム地域研究機構
	坪内博士記念演劇博物館
東京理科大学	総合研究機構火災科学研究センター
慶應義塾大学	パネルデータ設計・解析センター
	“Keio-Med Open Access Facility （慶應医科学開放型研究所）”
文化女子大学	文化ファッション研究機構
神奈川大学	国際常民文化研究機構
大阪商業大学	JGSS 研究センター
関西大学	ソシオネットワーク戦略研究機構

大学共同利用機関（※機構長を通じ、研究所・センター等に送付）

（機構：4件、研究所・センター：18件）

機構名	研究所・センター等名
人間文化研究機構	国立歴史民俗博物館
	国文学研究資料館
	国際日本文化研究センター
	総合地球環境学研究所
	国立民族学博物館
情報・システム研究機構	国立極地研究所
	国立情報学研究所
	統計数理研究所
	国立遺伝学研究所
自然科学研究機構	国立天文台
	核融合科学研究所
	基礎生物学研究所
	生理学研究所
	分子科学研究所
高エネルギー加速器研究機構	素粒子原子核研究所
	物質構造科学研究所
	加速器研究施設
	共通基盤研究施設

研究開発独立行政法人（※理事長宛にて送付）

（計 32 件）

法人名	法人名
沖縄科学技術研究基盤整備機構	農業・食品産業技術総合研究機構
情報通信研究機構	農業生物資源研究所
酒類総合研究所	農業環境技術研究所
国立科学博物館	国際農林水産業研究センター
物質・材料研究機構	森林総合研究所
防災科学技術研究所	水産総合研究センター
放射線医学総合研究所	産業技術総合研究所
科学技術振興機構	石油天然ガス・金属鉱物資源機構
日本学術振興会	新エネルギー・産業技術総合開発機構
理化学研究所	土木研究所
宇宙航空研究開発機構	建築研究所
海洋研究開発機構	交通安全環境研究所
日本原子力研究開発機構	海上技術安全研究所
国立健康・栄養研究所	港湾空港技術研究所
労働安全衛生総合研究所	電子航法研究所
医薬基盤研究所	国立環境研究所

<参考3> 2010年提言『学術の大型施設計画・大規模研究計画マスタープラン』の課題一覧

計画番号	区分(注)	計画名称	分野
1	B	「地域の知」の資源のグローバルな構造化と共有化プラットフォーム	人文・社会科学
2	B	日本語の歴史的典籍のデータベースの構築	人文・社会科学
3	B	心の先端研究のための連携拠点(WISH)構築	人文・社会科学
4	B	次世代ゲノム科学を基盤とした環境適応戦略研究拠点の形成	生命科学
5	B	生物多様性の統合生物学的観測・データ統合解析ネットワーク拠点	生命科学
6	B	先進的医学研究のための遺伝子改変動物研究コンソーシアムの設立	生命科学
7	B	糖鎖科学の統合的展開をめざす先端的・国際研究拠点の形成	生命科学
8	B	臨床研究推進による医学知の循環と情報・研究資源基盤の開発研究計画	生命科学
9	B	ゲノム医療開発拠点の形成	生命科学
10	B	次世代高機能MRIの開発拠点の形成	生命科学
11	B	創薬基盤拠点の形成	生命科学
12	B	メタボローム研究拠点の形成	生命科学
13	B	グリーンイノベーション研究拠点の形成	生命科学
14	B	食品機能の活用とその科学的検証システムの研究拠点の形成	生命科学
15	A	高性能核融合プラズマの定常実証研究	エネルギー・環境・地球科学
16	B	高温工学試験研究炉(HTTR)を用いた高温ガス炉水素製造システム開発計画	エネルギー・環境・地球科学
17	B	「エネルギー・環境技術国際研究拠点(Solar Quest)」計画	エネルギー・環境・地球科学
18	B	非平衡極限プラズマ 全国共同連携ネットワーク研究計画	エネルギー・環境・地球科学
19	A	衛星による全球地球観測システムの構築	エネルギー・環境・地球科学
20	A,B	未来予測を目指した統合的な地球環境の観測・実験・モデル研究計画	エネルギー・環境・地球科学
21	A	最先端技術で探る地球内部ダイナミクスと防災研究計画	エネルギー・環境・地球科学

22	B	全地球生命史解読と地下生物圏探査計画	エネルギー・環境・地球科学
23	A	高強度パルス中性子・ミュオンを用いた物質生命科学研究	物質・分析科学
24	A	放射光科学の将来計画	物質・分析科学
25	A	強磁場コラボラトリー(次世代強磁場施設)計画	物質・分析科学
26	B	物質開発ネットワーク拠点	物質・分析科学
27	A	Bファクトリー加速器の高度化による新しい物理法則の探求	物理科学・工学
28	A	J-PARC 加速器の高度化による物質の起源の解明	物理科学・工学
29	A	国際リニアコライダー(ILC)の国際研究拠点の形成	物理科学・工学
30	A	大型先端検出器による核子崩壊・ニュートリノ振動実験	物理科学・工学
31	A	RIBF の RI ビーム発生系の高度化による不安定核の研究	物理科学・工学
32	B	計算基礎科学ネットワーク拠点	物理科学・工学
33	A	大型低温重力波望遠鏡(LCGT)計画	物理科学・工学
34	A	30m 光赤外線望遠鏡(TMT)計画	物理科学・工学
35	A	一平方キロメートル電波干渉計(SKA)計画	物理科学・工学
36	B	複合原子力科学の有効利用に向けた先導的研究の推進	物理科学・工学
37	B	高エネルギー密度科学研究推進計画	物理科学・工学
38	A	次世代赤外線天文衛星(SPICA)計画	宇宙空間科学
39	A	アストロ-H(ASTRO-H)計画	宇宙空間科学
40	A	複数衛星による地球磁気圏探査(SCOPE)計画	宇宙空間科学
41	A	太陽系進化の解明を目指す宇宙惑星探査・開発プログラム	宇宙空間科学
42	B	大規模分散型高性能計算およびデータ共有システム	情報インフラストラクチャー
43	A	超大型仮想統合ネットワークテストベッド	情報インフラストラクチャー

注 A : 大型施設計画、B : 大規模研究計画

<参考4> 学術の大型施設計画・大規模研究計画マスタープラン課題一覧 新旧対照一覧

マスタープラン 2010 計画番号	マスタープラン 2011 計画番号	区分 (注)	計画名	新マスタープランへ の改訂内容
◆人文・社会科学分野				
1	1	B	「地域の知」を理解し共用する実践的情報基盤の形成	基本的に変更なし
2	2	B	日本語の歴史的典籍のデータベースの構築計画	基本的に変更なし
3	3	B	心の先端研究のための連携拠点 (WISH)構築	最先端基盤事業で一部予算化に伴い修正
—	4	B	社会科学統合データベース・ソリューション網の形成	新規採択
◆生命科学分野				
4	5	B	次世代ゲノム科学を基盤とした環境適応戦略研究拠点の形成	新規計画と統合し計画を修正
5	6	B	生物多様性の統合生物学的観測・データ統合解析ネットワーク拠点	基本的に変更なし
6	—	B	先進的医学研究のための遺伝子改変動物研究コンソーシアムの設立	最先端基盤事業で一部予算化に伴い除外
7	7	B	糖鎖科学の統合的展開をめざす 先端的・国際研究拠点の形成	基本的に変更なし
8	8	B	臨床研究推進による医学知の循環と情報・研究資源基盤の開発研究計画	新規計画と統合し計画を修正
9	9	B	ゲノム医療開発拠点の形成	基本的に変更なし
10	10	B	次世代高機能 MRI の開発拠点の形成	新規計画と統合し計画を修正
11	11	B	創薬基盤拠点の形成	最先端基盤事業で一部予算化に伴い修正
12	12	B	メタボロミクス研究拠点の形成	新規計画と統合し計画を修正
13	—	B	グリーンイノベーション研究拠点の形成	計画練り直しのため今回除外
14	13	B	食品の機能性・安全性向上のための統合的研究を目指した拠点形成	新規計画と統合し計画を大幅修正
—	14	B	シームレス脳科学の創成を目指した計測・操作研究プラットフォームの設立	新規採択
—	15	B	国際宇宙ステーションにおける宇宙生命科学的研究計画	新規採択
—	16	B	ヒトプロテオゲノミクスネットワーク:ヒト生命と病気の解明を目指す研究体制の構築	新規採択

—	17	B	システム構造生命科学開発事業計画	新規採択
—	18	B	先進歯学研究拠点の形成	新規採択
◆エネルギー・環境・地球科学分野				
15	19	A	高性能核融合プラズマの定常実証研究	基本的に変更なし
16	—	B	高温工学試験研究炉(HTTR)を用いた高温ガス炉水素製造システム開発計画	国の原子力長期計画が流動的であるため 今回除外
17	—	B	「エネルギー・環境技術国際研究拠点(Solar Quest)」計画	一部予算化に伴い今回除外
18	20	B	非平衡極限プラズマ全国共同連携ネットワーク研究計画	基本的に変更なし
19	—	A	衛星による全球地球観測システムの構築	新規計画番号21に組み換え
—	21	A+ B	衛星及び航空機を利用した地球観測システムの構築と大気海洋科学研究の推進	旧計画番号19から組み換え
20	—	A+ B	未来予測を目指した統合的な地球環境の観測・実験・モデル研究計画	新規計画番号22,23に組み換え
—	22	A	海洋環境保全を担う統合観測システムの開発と構築	旧計画番号20から分化・組み換え
—	23	A	太陽地球系結合過程の研究基盤形成	旧計画番号20から分化・組み換え
21	—	A	最先端技術で探る地球内部ダイナミクスと防災研究計画	新規計画番号24,25に組み換え
—	24	A	新統合国際深海掘削計画	旧計画番号21から分化・組み換え
—	25	A	海底地震・地殻変動観測網の整備と海陸地震火山観測に基づく地震発生及び火山噴火予測研究の推進	旧計画番号21から分化・組み換え
22	—	B	全地球生命史解読と地下生物圏探査計画	最先端基盤事業で一部予算化に伴い除外
—	26	B	広領域地熱システムの理解とエネルギー・資源の抽出	新規採択
—	27	B	次世代環境調和型海洋理工学の創成	新規採択
◆物質・分析科学分野				
23	28	A	高強度中性子・ミュオンビームを用いた物質生命科学研究	最先端基盤事業で一部予算化に伴い修正
24	29	A	放射光科学の将来計画	基本的に変更なし
25	30	A	強磁場コラボラトリー計画(次世代強磁場施設)	最先端基盤事業で一部予算化に伴い修正
26	31	A	物質・材料開発ネットワーク拠点	基本的に変更なし

◆物理科学・工学分野				
27	—	A	B ファクトリー加速器の高度化による新しい物理法則の探求	最先端基盤事業で一部予算化に伴い除外
28	32	A	J-PARC 加速器の高度化による物質の起源の解明	新規計画と統合し修正
29	33	A	国際リニアコライダー(ILC)の国際研究拠点の形成	基本的に変更なし
30	34	A	大型先端検出器による核子崩壊・ニュートリノ振動実験	基本的に変更なし
31	35	A	RI ビームファクトリーの高度化による「安定の島」を目指した RI 核反応学の推進	タイトルなど一部修正
32	36	B	計算基礎科学ネットワーク拠点	基本的に変更なし
33	—	A	大型低温重力波望遠鏡計画(LCGT)	最先端基盤事業で一部予算化に伴い辞退
34	37	A	30m 光赤外線望遠鏡計画(TMT)	基本的に変更なし
35	38	A	一平方キロメートル電波干渉計(SKA)計画	基本的に変更なし
36	39	B	複合原子力科学の有効利用に向けた先導的研究の推進	基本的に変更なし
37	40	B	高エネルギー密度科学研究推進計画	基本的に変更なし
◆宇宙空間科学分野				
38	41	A	次世代赤外線天文衛星(SPIGA)計画	基本的に変更なし
39	—	A	アストロ-H(ASTRO-H)計画	JAXA予算化に伴い辞退
40	42	A	複数衛星による地球磁気圏探査(SCOPE)計画	基本的に変更なし
41	43	A	太陽系進化の解明を目指す宇宙惑星探査・開発プログラム計画	基本的に変更なし
◆情報学分野				
42	44	B	大規模計算・科学データ共有のためのアカデミッククラウド基盤	最先端基盤事業で一部予算化に伴い修正
43	—	A	超大型仮想統合ネットワークテストベッド	辞退
—	45	B	e-サイエンスに向けた革新的アルゴリズム基盤	新規採択
—	46	B	国民生活を支える実空間型情報学基盤の研究	新規採択

<参考5> 学術の大型研究計画検討分科会審議経過

第17回分科会（2月7日（月）16:00～18:30）

第3回学術の大型計画に関する調査結果資料の整理、今回の提案の検討と取り扱い、及び今後の検討内容とスケジュールの検討

第18回分科会（3月7日（月）9:30～12:30）

天文学分野(宇宙科学を含む)、人文学分野ヒアリングと検討

第19回分科会（4月6日（水）9:30～12:30; 13:30-16:00）

生命科学分野ヒアリングと検討

第20回分科会（4月25日（月）9:30～12:30; 13:30-16:30）

社会科学、エネルギー・環境・地球科学、工学、情報学、生命科学分野ヒアリングと検討

第21回分科会（5月30日（月）9:30～12:30）

物理科学・工学、物質・分析科学、及び地球科学分野ヒアリングと検討

第22回分科会（6月13日（月）9:30～12:00）

各分類分野のマスタープラン掲載課題決定と今後のとりまとめ方

第23回分科会（7月8日（金）メール審議）

2011 マスタープラン小改訂の検討

第24回分科会（8月22日（月）10:00～12:00）

報告（案）の検討

第25回分科会（9月1日（木）10:00～12:00）

報告（案）の取りまとめ

日本学術会議科学者委員会を経て、日本学術会議幹事会（第135回）（平成23年9月22日）において、報告『学術の大型施設計画・大規模研究計画マスタープラン2011』を承認